

音楽Ⅰ

音楽Ⅰ Tutti+

学習の到達目標	・音楽の幅広い活動を通して、生徒が個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を育成し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。 ・音や音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養う。 ・音や音楽を知覚・感受して、思考・判断し表現する音楽活動の過程を通して、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。 ・音や音楽と生活や社会との関わりについて考え、音環境への関心を高め、音楽の知的財産権を尊重する態度の形成を図る。 ・中学校音楽科の学習を踏まえ、楽曲固有のよさや美しさなどを味わうだけでなく、文化的・歴史的背景など広い視野で音楽を捉えて、我が国及び諸外国の音楽文化への理解を深める。
----------------	--

題材	評価の3観点		
	知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C
オリエンテーション —未知なる音楽の世界を求めて—	【知】 様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 【技】 姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じしながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	親しみやすいJ-POPの歌の二部合唱、音楽を幅広く様々な視点から捉えようとするに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
イメージをもって歌おう —「夏の思い出」のヒミツを手掛かりに—	【知】 「夏の思い出」の曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【技】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じしながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	「夏の思い出」の曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
日本歌曲を歌おう —言葉とフレーズの関わりに着目して—	【知】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 【技】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じしながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	日本語の抑揚や間、語感、歌詞としてのまとまりが旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
言葉を生かして旋律をつくろう —日本語の言葉の特性に基づいて—	【知】 音の連なり及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】 日本語の抑揚、アクセント、リズムなどの言葉の特性を生かして旋律をつくる技能を身に付け、創作で表している。	リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように旋律をつくるかについて表現意図をもっている。	日本語の抑揚、アクセント、リズムなどの言葉の特性を感じ取り、自己のイメージをもって旋律をつくるに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
西洋音楽の源流を耳でたどろう —中世・ルネサンスの音楽—	【知】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	音色、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、ともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	西洋音楽の源流を中世からルネサンスの音楽の鑑賞と文化的・歴史的背景の学習で辿ることに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
歌の旅に出ようⅠ —イタリアの民謡や歌曲—	【知】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 【技】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	イタリア語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
歌の旅に出ようⅡ —英語のライムを感じて—	【知】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	英語の言葉の特性や曲にふさわしい発声、アクセントや子音・母音の扱い、語感の違いなどを生かして歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
旋律に合う和音を選ぼう —和音、和声—	【知】 音の重なりや連なりによる響きの特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】 つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付ける技能を身に付け、創作で表している。	和音、和声を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	和音、和声を学習することや旋律に合う和音を選んで合唱に編曲することに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
アンサンブルを楽しもう —テーブル・ミュージック&ヴォイス・アンサンブル—	（歌唱）【知】 様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 【技】 他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 （創作）【知】 音素材、音の連なりや重なりによる響き及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】 反復・変化・対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表している。	（歌唱） 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 （創作） 音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	（歌唱） 他者との調和を意識したり、ヴォイス・アンサンブルの特徴を生かしたりしながら、イメージをもって歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 （創作） 音色や構成を工夫しながらイメージをもってテーブル・ミュージックをつくって演奏することに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

芸術の秋，音楽の秋に向けて	【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴，曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技】他者との調和を意識して歌う技能，表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け，歌唱で表している。	速度，旋律，テクスチャ，強弱，構成を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことで感じたこととの関わりについて考えとともに，曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて考えて聴き，どのように歌うかについて表現意図をもっている。	季節の雰囲気に合わせて歌を二重唱や二部合唱で歌唱することや夏季休業中につくった音楽作品を紹介文とともに発表することに関心をもち，主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
自分がつくった旋律で変奏曲をつくらう —音楽を形づくっている要素のはたらきと効果—	【知】音の連なりや重なりによる響き，音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】音楽を形づくっている要素の働きを変化させ，変奏や編曲をする技能を身に付け，創作で表している。	リズム，速度，旋律，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことで感じたこととの関わりについて考え，どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	自分がつくった旋律を活用して音楽を形づくっている要素の働きを変化させて変奏曲を創作することに関心をもち，主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
変奏曲の魅力を探ろう —バガニニが残した名変奏曲—	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことで感じたこととの関わりについて考えとともに，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	主題の変化や作品の特徴が音楽の構造とどのように関わっているかに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
古の音楽に思いをはせよう —雅楽，悠久の響き—	【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わり，我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。	音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，構成を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことで感じたこととの関わりについて考えとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	雅楽の楽器の音色や奏法，楽器の構造，管弦の響きに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
アンサンブルを楽しもう —リコーダーかギターを選択して—	【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わり，様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 【技】曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能，他者との調和を意識して演奏する技能，表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け，器楽で表している。	音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことで感じたこととの関わりについて考え，どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	リコーダーまたはギターのどちらかを選択し，奏法を身に付けることや音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をするに関心をもち，主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
オーケストラの魅力を探ろう —二つの旋律から広がる音楽—	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，構成を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことで感じたこととの関わりについて考えとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	オーケストラの様々な楽器の音色や響き，またボレロのリズムに乗せた二つの旋律が展開されながらもたらす表現上の効果に関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
吹奏楽の魅力を味わおう —鯨のモチーフが紡ぎ出す雄大なドラマ—	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，構成を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことで感じたこととの関わりについて考えとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	吹奏楽の様々な楽器の音色や響き，また繰り返し現れるモチーフの変化と曲想や表現上の効果との関わりに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
歌の旅に出ようⅢ —ドイツ歌曲の魅力—	【知】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり，曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。	音色，リズム，速度，旋律，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことで感じたこととの関わりについて考えとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について考えて聴き，どのように歌うかについて表現意図をもっている。	ドイツ語の言葉の特性や曲にふさわしい発声を意識し，自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに関心をもち，主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
交響曲の魅力を探求しよう —ベートーヴェン最後の交響曲—	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことで感じたこととの関わりについて考えとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	オーケストラの響きや，ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりするおもしろさに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
混声合唱を美しく響かせよう	【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり，様々な表現形態による歌唱表現の特徴，曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技】他者との調和を意識して歌う技能，表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け，歌唱で表している。	音色，速度，旋律，テクスチャ，強弱を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことで感じたこととの関わりについて考えとともに，自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考えて聴き，どのように歌うかについて表現意図をもっている。	混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌うことや，曲想が歌詞の内容や作曲者の思いなどによってもたらされていることを理解しながら歌唱表現を創意工夫することに関心をもち，主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
名曲プレゼンテーション —さまざまな時代のピアノ曲を聴こう—	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりについて理解している。	音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことで感じたこととの関わりについて考えとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠や音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	冬季休業中に作成した紹介文を使ってミニコンサートを行い，時代や作曲者の違いによる音楽の特徴を感じ取りながら曲や演奏について根拠をもって批評することに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

物語と音楽との関わりに注目しよう —総合芸術における音楽の魅力—	【知】曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わり，言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり，曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わり，我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【技】曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。	音色，速度，旋律，テクスチャ，強弱を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことで感受したこととの関わりについて考えると，曲や演奏に対する評価とその根拠，音楽表現の共通性や固有性について考えて聴き，どのように歌うかについて表現意図をもっている。	総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか，音楽と他の文化が互いにどのように影響を合せて発展してきたかに関心をもち，主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
世界のさまざまな音楽の魅力Ⅰ —和楽器の音と世界の楽器の音—	【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わり，音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わり，我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【技】曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能を身に付け，器楽で表している。	音色，速度，旋律，テクスチャ，強弱を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことで感受したこととの関わりについて考えると，曲や演奏に対する評価とその根拠，音楽表現の共通性や固有性について考えて聴き，どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	日本の楽器の奏法を学び，音色や奏法の特徴を感じ取ること，諸民族の楽器と日本の楽器との比較を通して音楽表現や音楽文化の固有性，共通性を考えることに関心をもち，主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
世界のさまざまな音楽の魅力Ⅱ —世界の声の音楽—	【知】曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わり，言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり，我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴について理解している。 【技】曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。	音色，速度，旋律，テクスチャ，強弱を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことで感受したこととの関わりについて考えると，音楽表現の共通性や固有性，音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりについて考えて聴き，どのように歌うかについて表現意図をもっている。	世界の諸民族の様々な声の音楽から音楽表現の多様性を捉えること，諸民族の声の音楽と日本民謡の比較を通して音楽表現や音楽文化の固有性，共通性を考えることに関心をもち，主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
コンサートを開こう —音楽Ⅰのまとめとして—	【知】音楽Ⅰの１年間の学習における表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解している。 【技】音楽Ⅰの１年間の学習における技能に関する諸事項を身に付け，歌唱や器楽，創作で表している。	音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，形式，構成などを知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことで感受したこととの関わりについて考え，歌唱や器楽，創作表現としてどのように表すかについて表現意図をもっている。	１年間の音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施することや，音楽Ⅰの１年間の学習を経て自分自身の音楽に対する考え方がどのように変化したかを考えることに関心をもち，主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

音楽Ⅱ
音楽Ⅱ Tutti+

学習の到達目標	(1) 音楽Ⅰの学習経験を基盤として、質的に高めた音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせながら、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化とより深く関わる資質・能力を育成する。 (2) 音楽Ⅰの学習成果を踏まえ、文化的・歴史的背景や音楽の多様性について理解を深め、より広い視野で音楽を捉えることができるようにする。 (3) 個性豊かな音楽表現を創意工夫できるようにするために、必要となる技能を身に付け高めることができるようにする。 (4) 音や音楽を知覚・感受し、思考・判断する過程を充実させ、音楽を評価しながらそのよさや美しさを深く味わって聴く力を高める。 (5) 主体的・協働的な音楽活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、音や音楽のよさや美しさなどを自ら進んで感じ取るうとする態度を養う。 (6) 音や音楽と生活や社会との関わりについて考え、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度や音楽の知的財産権を尊重する態度を養う。
---------	---

題材	評価の3観点		
	知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C
オリエンテーション ークラスの歌声を響かせようー	【知】様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したごとと感受したごととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。	なじみのあるJ-POPの歌を、歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら二部合唱で歌うことに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
「アヴェ・マリア」を歌おう、聴き比べよう	【知】曲想と音楽の構造との関わり及びその関わりによって生みだされる表現上の効果について理解している。(歌唱) 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。(歌唱) 【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。(鑑賞)	音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じしながら、知覚したごとと感受したごととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。(歌唱) 旋律、リズム、速度、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したごとと感受したごととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。(鑑賞)	「アヴェ・マリア」を歌って歌唱の技能を高めることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(歌唱) いろいろな「アヴェ・マリア」を聴き比べながら音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽Ⅱの学習を豊かに展開していくための力を高めることに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑賞)
日本歌曲を歌おう	【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したごとと感受したごととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。	日本語の抑揚や間、語感、歌詞が旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
日本の音風景を感じ取ろう	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりや、我が国の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めている。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したごとと感受したごととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	四季の自然から美しさを感じ取る日本人の美意識や音の感性、我が国の伝統音楽の特徴について理解を深めることに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
イタリアの歌の世界	【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、それらの関わりによって生みだされる表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したごとと感受したごととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。	イタリア語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
音階や音素材の特徴を手掛かりに音楽をつくろう	【知】音素材、音階の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 【技】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能や、旋律をつくったりつった旋律に副次的な旋律や和音などを付けたりする技能を身に付け、創作で表している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したごとと感受したごととの関わりについて考え、個性豊かに創作表現を創意工夫している。	世界や日本の様々な音階の特徴や音素材の特徴を表したいイメージと関わらせて理解し、個性豊かに創作表現を工夫することに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
英語でポップスを歌おう	【知】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、それらの関わりによって生みだされる表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したごとと感受したごととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。	英語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

ヴォイス・アンサンブル&リズム・アンサンブルを楽しもう	【知】様々な表現形態による歌唱（器楽）表現の固有性や多様性について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱（器楽）表現をするために必要な他者との調和を意識して歌う（演奏する）技能，表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う（演奏する）技能を身に付け，歌唱（器楽）で表している。	音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，構成を知覚し，それらの働きを感じしながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに歌唱表現（器楽表現）を創意工夫している。	ヴォイス・アンサンブルやリズム・アンサンブルの特徴や表現上の効果を生かして歌ったり，演奏したりすることに関心をもち，主体的・協働的に歌唱（器楽）の学習活動に取り組もうとしている。
交響曲の仕組みを探ろう	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。	音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感じしながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	オーケストラの響きやソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりするおもしろさを深く味わって聴くことやモーツァルトの生涯に関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
協奏曲の魅力を探ろう	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。	音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感じしながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	独奏楽器と管弦楽の対比による独奏協奏曲やショパンの生涯に関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
ドイツ歌曲の魅力	【知】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり，それらの関わりによって生みだされる表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声，言葉の発音などの技能を身に付け，歌唱で表している。	音色，リズム，旋律，強弱，構成を知覚し，それらの働きを感じしながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。	ドイツ語の言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりによって生み出される表現上の効果を理解し，個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
フランスの歌に親しもう	【知】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり，それらの関わりによって生みだされる表現上の効果について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声，言葉の発音などの技能を身に付け，歌唱で表している。	音色，リズム，旋律，強弱，構成を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。	フランス語の言葉の特性とシャンソンやフレンチ・ポップスにふさわしい歌い方との関わりによって生み出される表現上の効果を理解し，個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
名曲プレゼンテーションⅠ —アメリカ大陸育ちのクラシック音楽—	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。	音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感じしながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠，自分や社会にとつての音楽の意味や価値，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	紹介文を作成してプレゼンテーションすることや，多様な文化が交差し，融合して発展したアメリカ大陸のクラシック音楽を味わうことに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
アンサンブルを楽しもう —リコーダーかギターを選択して—	【知】曲想と音楽の構造との関わり，曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果，様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能，他者との調和を意識して演奏する技能，表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付け，器楽で表している。	音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感じしながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに器楽表現を創意工夫している。	リコーダーまたはギターのどちらかを選択し，奏法を身に付け高めることや，音楽の嗜好や技能の習熟度に応じた教材を選択し，個性豊かに器楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動することに関心をもち，主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
吹奏楽の魅力味わおう —「オリエント急行」の旅を描くドラマ—	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めている。	音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，構成を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠及び音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	列車が走行する様子や情景の移り変わり，旅人の心情の変化などが吹奏楽でどのように描かれているかに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
オーケストラの魅力味わおう —組曲と交響詩—	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解を深めている。	音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠及び音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	劇音楽における場面や物語を演出する音楽の効果，音楽に文学や絵画を結び付けた交響詩を，オーケストラの壮大な響きとともに味わうことに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

混声合唱を美しく響かせよう	【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果，様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，他者との調和を意識して歌う技能，表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け，歌唱で表している。	音色，速度，旋律，テクスチャ，強弱を知覚し，それらの働きを感じながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。	他者との調和を意識して歌うことや，曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
---------------	---	--	--

名曲プレゼンテーションⅡ —演奏家と楽器が生み出す音楽の魅力—	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えると、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	紹介文を作成してプレゼンテーションすることや、様々な楽器の構造や発音原理の違いによって生み出される音色に注目したり独奏曲を通して奏者の表現の特徴を比較したりすることに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
物語と音楽との関わり	【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果を理解している。（歌唱） 【知】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり、楽器の音色や奏法との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果を理解している。（器楽） 【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景や他の芸術との関わりについて理解を深めている。（鑑賞） 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表している。（歌唱） 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。（器楽）	音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成などを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱（器楽）表現を創意工夫している。（歌唱、器楽） 音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えると、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。（鑑賞）	総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、また音楽と他の文化が互いにどのように影響を合せて発展してきたかに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞（歌唱・器楽）の学習活動に取り組もうとしている。
世界の様々な音楽の魅力Ⅰ —和楽器の音と世界の楽器の音楽—	【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。（器楽） 【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めている。（鑑賞） 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。（器楽） 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えると、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。（鑑賞）	和楽器の音色や奏法の特徴を感じ取ることや、諸民族の楽器と日本の楽器との比較を通して音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考えることに関心をもち、主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
世界の様々な音楽の魅力Ⅱ —世界の声の音楽—	【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。（歌唱） 【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。（鑑賞） 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。（歌唱） 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えると、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。（鑑賞）	世界の諸民族の様々な声の音楽から音楽表現の多様性を捉えることや、諸民族の声の音楽と日本の声の音楽の比較を通して音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考えることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
コンサートを開こう	【知】音楽Ⅱの1年間の学習における表現や鑑賞の知識に関する諸事項について理解している。 【技】音楽Ⅱの1年間の学習における技能に関する諸事項を身に付け、歌唱や器楽、創作で表している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱や器楽表現を創意工夫している。	1年間の音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。